



おうちで楽習保育®をやってみよう

えいごあそび編

WEB版「おしえて！楽習保育®」では、保護者のみなさまからのご質問にお答えしながら、ご家庭で取り組める楽習保育®のアイデアをご紹介します。今回は、「えいごあそび」編！英語を使ってご家庭で遊ぶことはありますでしょうか？是非、えいごを使って楽しく遊んでみてくださいね。 **Let's enjoy English!!**

ママ・パパの悩みに 専門家が答えます！

Q 私自身が英語に対して苦手意識が強いため、子どもとどう英語に接していったらよいのか、イメージが湧きません。(5歳/男児のママ)

A 英語に苦手意識を持つ方は少なくないですよ。お母さまの英語への苦手意識はどこから来ていますか？学校の英語の勉強からでしょうか。

英語を教科としてとらず、伝えるための手段だと考えてみてください。

海外旅行先で英語が出来たらとても楽しいですよ。挨拶や「ありがとう」「またね」など日常の簡単な表現を英語で言ってみることから始めてみましょう。楽しそうに英語を話しているお母さんの真似をお子さんもしたくなるかもしれません！
Have fun! (楽しんで！)

Q 子どもと英単語など使う場面での発音について、カタカナ英語になってしまいます。発音はネイティブに近い方がよいのでしょうか。(3歳/男児のパパ)

A 単語によって異なりますが、「発音はネイティブに近い方がいい」というのは、安全な答えです。ですが、英語は様々な国で使われています。Englishesと複数形にして使う場合もあるほどバリエーションが多いのも事実です。**つまり、日本語アクセントのある英語もあっていいのです。**

こんなケースも!
例えば、「ワクチン」は英語で「vaccine」で発音は「ヴァクシーン」。こんなに違うんだということは、知っておくといいですね。

Q 言葉の習得の順番として、日本語がまず話せるようになってから英語を取り入れていく方がいいですか？

まだ、日本語もままならないので、早期から英語に触れさせることで混乱してしまうのではないかと不安です。(2歳/男児のママ)

A これは、**どのくらいの量の英語にふれさせるのか、ということのインプット量と関係します。**

日本人の両親で通常日本語で話している家庭の子どもは、短時間英語に触れるだけでは日本語の獲得に混乱することはまずありません。もしあるとしたら、親が意識して英語を話す時間を多くして、日本語での会話量が極端に少ない場合でしょう。

“ポイント”
子どもにとって、**英語の音は日本語と違いがあるからこそ、刺激になり面白く感じるものなのです！**

日本語が話せるようになってからと考えず、あそびせいかつの中で取り入れてみてください。

Q YouTubeや英語のCD教材など、聞かせるだけでも効果はあるものですか？(1歳/女児のママ)

A 確かに乳幼児期は音に敏感です。いろんな音を聞かせることは刺激になるのでいいことでしょう。

ただし「聞かせるだけで英語が話せるようになる」ということにはなりません。話せるようになるには、やり取りできる機会が必要だからです。

動画を見るだけではなく、**例えばそのフレーズを使って、大人と一緒に英語の音を真似をしてみるなど遊びに展開させると、子どもにとってより楽しい時間になるでしょう。**

えいごであそぼ Let's enjoy English!!

◆1◆「アイ・スパイ」ゲーム

おすすめ時期 ▶ 会話ができるようになってきた頃 (目安: 幼児期以降)

I Spy with my eye Something red (Blue, yellow)

「私の考えていることわかるかな？」自分の想像していることを相手にあててもらおう「あてっこゲーム」です。親子で気軽に楽しめる！と海外でも人気の遊び。

たとえば！「赤色」の何を想像しているかをあててみます。

parents [Something Red?] → **kids** [Apple!]

parents [Good! (せいかい~!)] or [No! I spy strawberry!]

子どもにも大人にも、色は英語で表現しやすく親しみやすいので、気軽に準備物もなく楽しめる遊びです。英語の音を身近に楽しんだり、これは英語でなんて言うのかな？と興味を広げていくことにつながります。

楽習保育®チャンネルでも、ISpyゲーム【えいごあそび】何を想像してるかな？英語で見つけよう！を動画で紹介しております。是非ご参考ください!!

<https://youtu.be/-yjQU0XjA5c>

◆2◆ おうちの周りにあるものを英語で言ってみよう!

おすすめ時期 ▶ 幼児、身の回りの物の名前を覚え始めたころ

家の中や周囲、よく行く公園までの散歩道など、身近な物や場所を写真に撮ります。(こどもが撮ってもOK)

撮ったものを英語で言ってみましょう。英語の名前やスペルがわからなければ、おうちの人がスマートフォンなどで調べたり、読み上げ機能を使えば正しい発音などの情報も得られます。

木は“TREE”、空は“SKY”、公園は“PARK”、信号は…?

発展
英語を楽しむ機会が増え、子どもがアルファベットの文字にも興味を持ち始めたら、おうちの人が英語で名前を書いてみることもいいでしょう。

◆3◆ 親しみのある歌を英語バージョンで歌ってみよう!

きらきら星、あたまかたひざポン！など、子どもが歌を口ずさむようになったころがおすすめ！大好きな歌を新しい言葉で歌う楽しさから、自然と単語やフレーズを身に付けることができます。是非、家族で一緒に歌ってみてください。

専門家の声 VOICE

かすや みるこ 加須屋 裕子先生
● えいごあそびプログラム 教育アドバイザー
文京学院大学 人間学部 児童発達学科 大学院人間学研究所 教授

生後6か月頃までの赤ちゃんは日本人が苦手とする「r」と「l」の聞き分けができます。しかし、そのような能力は英語環境を続けない限りは続きません。ほとんどの日本人はその後そのような環境では過ごしていないため、英語習得は簡単なことではありません。時間がかかるからこそ、英語を早く始めた方がいいとも言えますが、辞めずに続けるための動機づけが必要です。特に、**子どもたちは英語の時間がゲームに集中している時のような楽しい時間となるのが大事です。**そんな環境づくりに周りの大人ができることはないのでしょうか。例えば、**寝る前に英語の絵本を読んでみるのはどうでしょうか。**子どもが気に入った本は何度でも読んで聞かせましょう。読みながら本の内容について、日本語で語り合うのもいいでしょう。英語をもっと学びたいように、楽しく「読み聞かせ」をすることを毎日の習慣にしてみてください。いつか、お子さんが英語の本を自分で読んでいる姿が見られることでしょう。